

主権者教育出前講座

2020.2.2

毎年実施している「主権者教育」。今年は、毎年来てくださっている吉野川市選挙管理委員会の方々、そして今回は、狛江市副市長平林浩一様、狛江市手をつなぐ親の会会長森井道子様
が講師として来てくださり、実施しました。平林様と森井様は、総務省主権者教育アドバイザーをされております。

まず、生徒、保護者と一緒に「選挙・投票」について考えていきました。授業の中で「模擬投票」ができるよう、「鴨島市長選」と架空の選挙を想定し、3人の立候補者の中から一人選んで投票をしていく体験をしていきました。

平林様からは「やさしい選挙のお話」の題目でお話をうかがいました。とてもわかりやすく解説してくださり、その後、一人一人実際に投票の受付をしてから投票するまでの動きを一つずつ確認したり、わからないところは質問して平林様から教えていただきながら進めていきました。とても丁寧に教えてくださり、こう伝えたらいいんだ、これは支援をお願いしたらいいんだ等保護者と一緒に体験することで、細かい点が本当によくわかりました。



「やさしい選挙のお話」



「模擬投票受付」



「保護者も受付等を体験」



「自分が選んだ人の名前を書いています」



「投票時に手を添えるのはOK」



「記入の際に鉛筆を取ってもらえるようお願いしていました」



「投票時の支援をお願いしていました」



「生徒代表お礼。
18歳になったら勇気を出して一票を入れたい」

体験後、森井様からもお話をいただきました。
「投票する権利はその人のもの。一票はその人のもの」であること、「意思のない人はいない」「自分で考えた結果であれば、それは正しい選択」等たくさんのことを学びました。

選挙権を得たときに、「投票しよう、投票所に行こう」と思えるように、今後も「選挙・投票」について学ぶことを続けていきたいと思っております。また、様々な場面で「意思決定」する力を伸ばしていきたいと思っております。

平林様、森井様、吉野川市選挙管理委員会の皆様、本当にありがとうございました。